

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市江の木町PJ 新築工事	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市江の木町6-3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	108 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,720 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年9月28日
敷地面積	657 m ²	作成者	積水ハウス(株)植田泰平
建築面積	299 m ²	確認日	2015年9月30日
延床面積	2,475 m ²	確認者	積水ハウス(株)齊藤藤和也

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.1 ★★★★★★

☆:S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 77%
 ③上記+②以外の 25%
 ④上記+ 25%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 積極的に緑地を設け、周辺環境になじむように建物の色彩に配慮しました。		その他 特にありません。
Q1 室内環境 天井裏、下地、仕上げ等、F☆☆☆☆を使用することによりシックハウス対策に配慮しました。	Q2 サービス性能 階高はゆとりをもたせ、情報通信も光ケーブルを導入しております。	Q3 室外環境(敷地内) 建築物の色彩は周辺環境になじむよう計画しました。
LR1 エネルギー LED照明を積極的に採用し、住戸内においても高効率給湯器を採用しました。	LR2 資源・マテリアル 外壁断熱材は吹付硬質ウレタンフォームA種1(ノンフロン)を使用し、住戸内はGL工法にて比較的容易に分別できるように計画しました。	LR3 敷地外環境 広告照明は設置せず、屋外照明等も適正な範囲となるよう計画しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0054

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市江の木町PJ 新築工事					
	建設地	吹田市江の木町6-3					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
省エネ対策		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			